

初版

介護Tech導入評価 チェックシート



SOMPO-産総研 RDP連携研究ラボ

介護Tech導入評価チェックシート 介護Tech 8つの観点

このチェックシートについて

このチェックシートは、個別の介護事業所が介護テクノロジー（以下、介護Tech）を導入しようとする際に、**検討の初期段階に確認した方がよい項目をチェックするためのもの**です。このチェックシートを活用することにより、候補となる介護Techの種類を限定し、より詳細な検討を行うことができます。決して評価軸ではなく、より良くなるためのものです。

導入の検討においては、項目の順番に沿って一方向に検討を進めるだけでなく、必要に応じて、項目をとばして先に進んだり、前の項目に戻ったりすることで、多様な観点で確認しながら、検討を進めることができます。

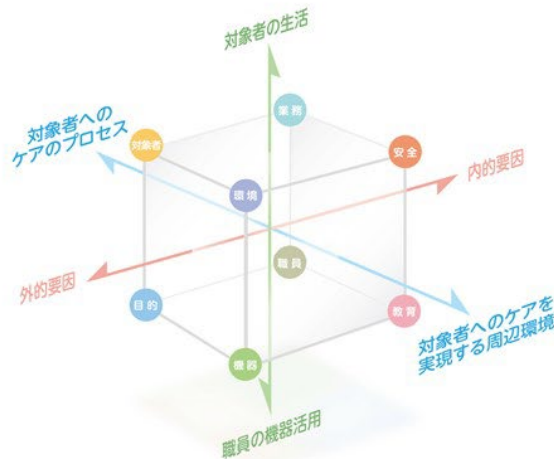
介護Techの導入にあたっては、チームによる意思決定をすることが大切です。モチベーションを持つためにもこのチェックシートを活用できます。

SOMPO-産総研 RDP連携研究ラボ



参照 URL: https://www.aist.go.jp/Portals/0/resource_images/aist_j/announce/au2024/0426/report.pdf

介護 Tech 導入の包括的な検討のための8つの観点 概念図



目的	目的を明確にすること
対象者	対象者像を明確にする(確認すること)
機器	機器について事前に確認すること
安全	安全な使用のために事前に確認すること
環境	使用環境にあっていること
業務	業務の妨げにならないこと(業務の変更も含む)
職員	職員側の受け入れ準備ができていること
教育	教育体制を整備すること

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

目的を明確にすること

1. 介護Techの導入を検討する目的を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 高齢者の自立支援
☐ 職員の負担軽減
☐ 介護の質向上
☐ 生産性向上
☐ その他

入浴

業務支援

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

目的を明確にすること

2. 介護Techの導入により、どのような課題の解決を期待しますか。
（複数選択可）

- ☐ 利用者の自立
 ☐ 介護職員の業務負担
 ☐ 介護事業所の業務
- ☐ 利用者の生活の質
 ☐ 介護職員のやりがい
 ☐ 介護事業所の評判
- ☐ 利用者の安心・安全
 ☐ 介護職員の離職
 ☐ 介護事業所の経営
- ☐ 利用者が受けるケアの質
- ☐ その他_____

解説

介護Techの導入を検討する前に、介護事業所のどのような課題を解決しようとするのかを確認することによって、導入の目的を明確にすることができます。明確な課題があることで、有効な活用につながります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

目的を明確にすること

3. 介護Techの導入により、どのような効果を期待しますか。

解説

導入の具体的な効果を想定しておくことにより、どのような準備が必要であるのか、より深い議論を行うことができます。また導入後の効果の確認もスムーズに行うことができます。

なお新しい介護Techの場合には、効果を想定することが困難な場合があると考えられる人もいます。小規模の試験的な導入によって、介護Techを自分たちが理解することで、適切な判断ができるようになります。これも導入の効果と考えることができます。なお、このような試験的な導入であっても、参加者の負担が適切であるか、安全性が担保されているか、実施前に十分に検討してください。

ハードウェア

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

ICT センサ

ICT システム

目的を明確にすること

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

4. 介護Tech導入の効果を確認する指標や判断基準は決まっていますか。

☐ 決まっている

指標や判断基準の名称（_____）

☐ 決まっていない

解説

どのように効果を確認するのか、そのための指標や判断基準が決まっていなくて、せっかく導入しても効果を適切に評価することができません。評価する指標や基準を先に考えておいてください。
 なお、評価を確認する指標や判断基準を見つけることが容易ではない場合もあります。自分たちだけで考えるのではなく、詳しい人に相談するようにしてください。
 参考：厚生労働省「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のためのプラットフォーム」では、相談窓口やリビングラボを設置し、相談に対応する体制を整備しています。

ハードウェア

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

ICT センサ

ICT システム

目的を明確にすること

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

5. 介護Techを導入することで、目的を達成できる見込みがありますか。

☐ 達成できる見込みがある☐ 達成できる見込みがない。☐ その理由を教えてください。

解説

どのように目的を達成するのかを先に検討することで、必要な準備を考えることができます。
 もし、目的を達成できる見込みがない場合は、目的を再検討することをお勧めします。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

対象者像を明確にする（確認する）こと

- 介護Techを使用する介護業務の対象となる人や、介護Techを
1. 使用する人について、なるべく具体的に記述してください。

解説

介護Techを導入する目的を明らかにする段階で、具体的な対象者や使用者、使用場面などが明らかになっているべきです。もし、具体的な対象者・使用者像が明らかになっていない場合は、導入の目的から再検討することをお勧めします。なお、介護Techの種類によって、対象者や使用者は異なります。具体的な使用場面を想定して検討してください。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

対象者像を明確にする（確認する）こと

- 介護Techの使用が制限される人（リスクのある人など）に関する
2. 情報はありますか。

☐ 確認した

確認結果（_____）

☐ 確認していない

解説

介護Techの取扱説明書には、使用が制限される人・使用すべきでない人の情報が記載されています。販売・仕入れ業者／メーカーなどに問合せをして確認することもできます。導入を検討する段階で確認しておくことで、導入後に使用する対象者や使用者の数を正確に見積もることができます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

対象者像を明確にする（確認する）こと

3. 介護Techの対象となる人や使用する人は、事業所内に何人くらいいますか。

	1人	2-9人	10人以上	50人以上	100人以上
現在	☐	☐	☐	☐	☐
1年後想定	☐	☐	☐	☐	☐

解説

介護Techの対象となる人や使用する人の数を、導入を検討する段階で確認することをお勧めします。現状の対象者や使用者の数だけでなく、過去に在籍した人の中に、どの程度、可能性のある人がいたのかを考えることで、将来的な対象者や使用者の数を想定することができ、導入の検討に役立ちます。なお、前項「使用が制限される人」についても考慮する必要があります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

1. 介護Techに関する情報はどこから入手できますか。（複数選択可）

- ☐ カタログ類から入手可能
- ☐ 販売・仕入れ業者／メーカーなどから入手可能
- ☐ インターネットから入手可能
- ☐ 取扱説明書から入手可能
- ☐ 入手困難
- ☐ その他（_____）

解説

介護Techに関する情報を導入検討段階で入手することで、十分な検討を行うことができます。情報を入手困難な場合は、厚生労働省「[介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のためのプラットフォーム](#)」で整備する相談窓口やリビングラボなどに相談することもできます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

2. 介護Techの効果等に関する科学的な根拠（エビデンス）や、メーカー以外の中立的な立場の者による検証に関する情報はありますか。

☐ ある

エビデンスなどの情報（_____）

☐ ない☐ わからない

解 説

介護Techの有効性や安全性に関する（医学的、学術的等の）エビデンスが確認できると、より有効に活用することができます。
中立的な立場の者による検証がない場合は、次項の他事業所での使用状況などが参考にできます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

3. 介護Techに関する他の介護事業所での使用状況に関する情報はありますか。

☐ ある

情報源（_____）

☐ ない☐ わからない

解 説

介護Techに関する他の介護事業所での使用状況に関する情報があると、参考にすることができます。
なお、他事業所と自事業所では、設備などの環境面や、職員、入所者・利用者の構成などが異なるため、必ずしも同じ結果を得ることができるとは限りません。自事業所に合わせた運用を考える必要があります。

介護Tech導入評価チェックシート		介護Tech 8つの観点																																															
ハードウェア		目的	対象者	機器	安全	環境	業務	職員	教育																																								
ICTセンサ	機器について事前に確認すること																																																
ICTシステム	機器について事前に確認すること																																																
移動（装着）	介護Techについて、使用の妨げとなる機器側の要因がないか、確認してください。 4. <table><thead><tr><th></th><th>ある</th><th>ない</th><th>わからない</th></tr></thead><tbody><tr><td>重量</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>幅・奥行き</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>高さ</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>動作スピード</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>使いやすさ</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>併用する機器</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>必要な端末の有無</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>対応する端末の有無</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>記録システムやナースコールの連携など</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></tbody></table> 解説 介護Techの使用の妨げとなる機器側の要因がないか、試用したりすることで確認することができます。前項の他事業所の使用状況も参考になります。										ある	ない	わからない	重量	☐	☐	☐	幅・奥行き	☐	☐	☐	高さ	☐	☐	☐	動作スピード	☐	☐	☐	使いやすさ	☐	☐	☐	併用する機器	☐	☐	☐	必要な端末の有無	☐	☐	☐	対応する端末の有無	☐	☐	☐	記録システムやナースコールの連携など	☐	☐	☐
										ある	ない	わからない																																					
重量										☐	☐	☐																																					
幅・奥行き										☐	☐	☐																																					
高さ										☐	☐	☐																																					
動作スピード										☐	☐	☐																																					
使いやすさ										☐	☐	☐																																					
併用する機器										☐	☐	☐																																					
必要な端末の有無										☐	☐	☐																																					
対応する端末の有無										☐	☐	☐																																					
記録システムやナースコールの連携など										☐	☐	☐																																					
移動（非装着）																																																	
移動（屋外）																																																	
移動（屋内）																																																	
移動（装着）																																																	
排泄（処理）																																																	
排泄（予測）																																																	
排泄（動作）																																																	
見守り（施設）																																																	
見守り（在宅）																																																	
コミュニケーション																																																	
入浴																																																	
業務支援																																																	

SOMPO-産総研 RDP連携研究ラボ

介護Tech導入評価チェックシート		介護Tech 8つの観点							
ハードウェア		目的	対象者	機器	安全	環境	業務	職員	教育
ICTセンサ	機器について事前に確認すること								
ICTシステム	機器について事前に確認すること								
移動（装着）	介護Techを試用・体験できますか。 5. ☐ できる（既に試用済も含む。） ☐ できない ☐ わからない 解説 介護Techを試用・体験することで、導入の判断を助けることができます。								
移動（非装着）									
移動（屋外）									
移動（屋内）									
移動（装着）									
排泄（処理）									
排泄（予測）									
排泄（動作）									
見守り（施設）									
見守り（在宅）									
コミュニケーション									
入浴									
業務支援									

SOMPO-産総研 RDP連携研究ラボ

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

6. 介護Techは、設置などのために工事が必要ですか。

- ☐ 必要
- ☐ 不要
- ☐ わからない

解説

介護Techの種類によっては、設置などに伴い工事（Wifi環境の整備・増強を含む）が必要な場合があります。導入する際に工事が必要であるかは、必ず確認してください。
なお、建物側に工事に対する制約がある場合もあるため、注意してください。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

7. 介護Techの導入と、その後の運用に必要な費用はわかりますか。

- ☐ わかる
- ☐ わからない

解説

介護Techの導入にあたって必要な費用や、導入後の運用に必要な費用を確認してください。
また、利用可能な補助金などについて調べておく、具体的な検討を進めることができます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

8. 介護Techの導入や運用に必要な費用はどのように確保しますか。

☐ 介護事業所内資金☐ 補助金など☐ その他

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

機器について事前に確認すること

9. 介護Techの導入や運用に必要な費用は、導入の目的、対象者の状況、業務等の観点（介護事業所の課題など）と比べて妥当と考えることができますか。

☐ 妥当である☐ 妥当ではない☐ わからない

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

解説

介護Techの導入に必要な費用は、安ければいいというわけではなく、目的、対象者の数、介護事業所の課題などと比べて妥当であるかどうかで考える必要があります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

介護Techを使用する上での安全上の課題について、取扱説明書で確認したり、
1. 販売・仕入れ業者／メーカーなどに確認・相談しましたか。

☐ 確認・相談した

結果 ()

☐ 確認・相談していない

想定される安全上の課題が残っている場合、その対策を記入してください。(自由記述)

解説

介護Techの安全上の課題は、必ず確認してください。
 もし、安全上の課題が残っている場合は、必ずその対策を検討し、適切な対策がない場合は介護Techの選択から再検討してください。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

2. 安全上の理由で介護Techの使用を中止する基準を考えていますか。

☐ 考えてある

中止する基準 ()

☐ 考えていない

解説

介護Techを導入した後で、安全上の理由(明確な危害だけでなく、「利用者にとっての安全、不安、不快な状況」・「職員にとっての安全」を含む)等で、その使用を中止した方がよい場合があります。使用を中止する基準を先に決めておくことで、そのような状況になった場合に、速やかに判断できます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

3. 介護Techの使用にあたり、他の機器との関係で新たな安全上の問題が生じないか、販売・仕入れ業者／メーカーなどに相談しましたか。（機器同士の干渉、電波の干渉など）

- ☐ 相談した
結果（ ）
- ☐ 相談していない

解説

他の機器（他の介護Techや情報機器、福祉用具など）の近くや、同じ介護事業所内で介護Techを使用することがあると思います。
個別の介護Techだけを使用することが安全であっても、他の介護Techや用具などとあわせて使用することに関する複合的な要因によって危険な状態に陥る場合があります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

4. 介護Techに通信機能がある場合、情報セキュリティ上の問題がないか、販売・仕入れ業者／メーカーなどに確認してください。

- ☐ 問題ない
- ☐ 問題がある
- ☐ わからない

解説

介護Techに通信機能がある場合、情報漏洩やセキュリティ上の問題が生じる可能性があります。どのような安全対策が施されているのか必ず確認するとともに、自分たちでも安全性が理解できるように、情報収集を行ってください。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

5. 介護Techの安全に関する規格認証等の取得状況はわかりますか。

- ☐ わかる
取得状況（_____）
- ☐ わからない

解説

介護Techの安全に関する規格認証等の取得状況と、その規格等の意味がわかることで、より安心して使用することができます。

（参考）

・福祉用具JISマーク：http://www.jaspa.gr.jp/?page_id=536

・高齢者の生活環境上の安全・安心機能に関する認定制度：<https://www.espa.or.jp/sss/index.html>

・厚生労働省「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のためのプラットフォーム」で整備する相談窓口やリビングラボなどに相談することもできます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

安全な使用のために事前に確認すること

6. 介護Techや類似の機器に関するリコール、事故、ヒヤリハット情報などを確認しましたか。

- ☐ 確認した
- ☐ 確認していない

解説

リコール、事故、ヒヤリハット情報を確認することで、安全な機器の運用について考えることができます。

新しい介護Techの場合、その製品自体の情報がない場合もあります。

その際は、類似の機器に関する情報を確認することで、何に注意すべきであるのかを考えるヒントになるかもしれません。

テクノエイド協会「[福祉用具ヒヤリハット情報](#)」

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

使用環境にあっていること

- 介護Techを使用する場所の制約について、次の項目を販売・仕入れ業者／メーカーなどに相談したり、取扱説明書で確認してください。

	制約がある	制約がない	わからない
移動（装着）	☐	☐	☐
移動（非装着）	☐	☐	☐
移動（屋外）	☐	☐	☐
移動（屋内）	☐	☐	☐
移動（装着）	☐	☐	☐
排泄（処理）	☐	☐	☐
排泄（予測）	☐	☐	☐
排泄（動作）	☐	☐	☐
見守り（施設）	☐	☐	☐
見守り（在宅）	☐	☐	☐
コミュニケーション	☐	☐	☐
入浴	☐	☐	☐
業務支援	☐	☐	☐

他に該当するものがあれば記入してください

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

使用環境にあっていること

- 前項で調べた制約について、実際に使用・保管する際に問題となるか否かを確認してください。

	制約がある	制約がない	わからない
移動（装着）	☐	☐	☐
移動（非装着）	☐	☐	☐
移動（屋外）	☐	☐	☐
移動（屋内）	☐	☐	☐
移動（装着）	☐	☐	☐
排泄（処理）	☐	☐	☐
排泄（予測）	☐	☐	☐
排泄（動作）	☐	☐	☐
見守り（施設）	☐	☐	☐
見守り（在宅）	☐	☐	☐
コミュニケーション	☐	☐	☐
入浴	☐	☐	☐
業務支援	☐	☐	☐

他に該当するものがあれば記入してください

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

業務の妨げにならないこと(業務の変更も含む)

1. 介護Techの導入を検討する介護業務の種類(重点分野)

- ☐ 移乗
☐ 移動
☐ 排泄
☐ 入浴
☐ その他
- ☐ みまもり
☐ コミュニケーション
☐ 介護業務支援

解説

この項目に挙げた「介護業務の種類」は、ロボット技術の介護利用における重点分野です。
 参考：『ロボット技術の介護利用における重点分野』厚生労働省、経済産業省、平成29年10月改定

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

業務の妨げにならないこと(業務の変更も含む)

2. 介護Techの導入を検討する具体的なケアや作業について、現状、1日の中で何回程度実施しますか。

回

そのうち、介護Techを使用することになりそうな回数を教えてください。

回

解説

介護Techが関係しそうな業務について検討することで、費用対効果を考える際の助けとなります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

業務の妨げにならないこと（業務の変更も含む）

3. 介護Techを導入する際、変更しなければならなくなりそうな介護業務を教えてください。

解説

介護Techを導入する際、現状の業務プロセスの中で使用するよりも、業務プロセスを適切に変更したり、あるいは、先に業務プロセスの効率化などの改善作業を行い、それにあわせて介護Techを導入することで、より効率的に活用することができます。

参考 ・厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」
・株式会社日本総合研究所「介護ロボット導入検討ポイント集」

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移乗（装着）

移乗（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

業務の妨げにならないこと（業務の変更も含む）

4. 介護Techを導入する場合、事業所全体で必要となりそうな台数を教えてください。

_____台・セット

その理由を教えてください。

解説

介護Techを導入する際、事業所全体で必要となりそうな台数を考えておくことで、事業所全体に対する費用対効果を検討することができます。
また、小規模な試験導入から、徐々に台数を増やす段階的な導入計画なども検討することができます。
なお、1台だけで十分な効果が発揮できず、複数台を導入することで効果を発揮する場合があります。
（※例えば移動の手間がかかるような介護Techなど）

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

業務の妨げにならないこと（業務の変更も含む）

5. 業務に不都合があるなどの理由で、介護Techの使用を中止する基準を考えていますか。

☐ 考えてある

中止する基準（_____）

☐ 考えていない

解 説

介護Techを導入した後で、業務上の理由（明確な危害だけでなく、「利用者にとっての安全、不安、不快な状況」・「職員にとっての安全」を含む）で、その使用を中止した方がよい場合があります。使用を中止する基準を先に決めておくことで、そのような状況になった場合に、速やかに判断できます。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

移動（装着）

移動（非装着）

移動（屋外）

移動（屋内）

移動（装着）

排泄（処理）

排泄（予測）

排泄（動作）

見守り（施設）

見守り（在宅）

コミュニケーション

入浴

業務支援

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

職員側の受け入れ準備ができていること

1. 検討する介護Techを職員が受け入れると思いますか。

☐ ほとんどの職員が受け入れると思う☐ 一部の職員が受け入れると思う☐ 受け入れる職員は少ないと思う

解 説

介護Techを職員が受け入れるかどうかは、導入後に活用されるかどうかに影響します。受け入れる職員が少ないと想定される場合は、次項の「受け入れてもらうための工夫や体制整備」について考えることで、導入後の有効活用につながる可能性があります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

職員側の受け入れ準備ができていること

4. 同じ目的を達成するための他の介護Techを既に使用していますか。

- ☐ 使用している
- ☐ 使用していない

解説

同じ目的を達成するために、既に他の介護Techを使用している場合、職員がその必要性や使用方法を理解しやすいことで、受け入れてもらいやすい場合があります。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

教育体制を整備すること

1. 介護Techを使用するための教育訓練に割く時間はつくれますか。

- ☐ つくれる
- ☐ 必要があれば時間を確保する
- ☐ つくれない
- ☐ その他（自由記述）

解説

介護Techを使用するための教育訓練に割く時間がない場合は、目的から再検討することをお勧めします。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

職員側の受け入れ準備ができていること

2. 検討する介護Techを職員に受け入れてもらうための工夫や体制整備などの準備はありますか。

☐ ある

具体的な工夫や体制整備 ()

☐ ない

解説

介護事業所としての安全に対する方針（ノーリフティングポリシーなど）や、教育・研修、あるいは実施体制の整備が受入に影響します。

体制の整備として、内部のリーダーとして導入を先導する人（チャンピオン、実装リーダー、オビニオンリーダーと呼ばれる）や、外部から指導や支援を行う人（チェンジ・エージェントと呼ばれる）等の存在が受入に影響します。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

職員側の受け入れ準備ができていること

3. 検討する介護Techは、職員が容易に使用できると思いますか。

☐ 容易に使用できる☐ 練習すれば使用できる☐ 使用困難

解説

介護Techを職員が容易に使用できると感じることができると、職員に受け入れられやすいです。

機器側の使いやすさ等の要因もありますが、教育や研修などを工夫することも必要です。

ハードウェア

ICT センサ

ICT システム

目的

対象者

機器

安全

環境

業務

職員

教育

教育体制を整備すること

2. 介護Techを使用するための教育訓練を実施する体制がありますか。

- ☐ 実施できる体制がある
- ☐ 実施体制がない
- ☐ その他（自由記述）

解説

介護Techを使用するための教育訓練の実施にあたっては、販売・仕入れ業者／メーカー／類似の介護Techを導入している近隣の介護施設などと相談してください。

